

令和6年度 第5回

希望郷いわてモニターアンケート

消防団員確保対策に関する意識調査 報告書

岩手県復興防災部消防安全課

消防団員確保対策に関する意識調査結果について

I アンケート調査の概要

1 調査の趣旨

消防団は、地域密着性・要員動員力・即時対応力といった特性を持ち、地域防災体制の中核を担っていますが、社会情勢の変化及び少子高齢化等により、消防団員数の減少傾向が続いています。

県ではこれまで、消防団員確保のための普及啓発活動を行うとともに、消防団員の処遇改善や特定の活動のみに参加する機能別団員制度の導入など、市町村へ働きかけを行うほか、「いわて消防団応援の店登録事業」や各種イベント等を活用し、若者・女性を中心に消防団員への加入促進を進めてきたところです。

本調査は、消防団に対する県民の皆様の認知度やイメージ等を調査し、今後、県が進める消防団員確保対策の参考としようとするものです。

2 調査期間

令和6年8月7日（木）から8月21日（水）

3 調査方法

調査紙郵送及びインターネット

4 調査対象

令和6、7年度希望郷いわてモニター 200名

5 回答者数

167名（回答率83.5%）

うち、①消防団員ではない方	157名
②現役の消防団員の方	5名
③過去に消防団員だった方	5名

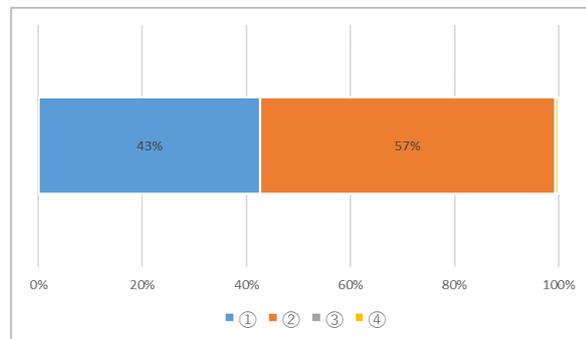
Ⅱ アンケート調査結果

1 消防団員ではない方（回答者数 157 名）

問1 はじめに、あなたの性別、年齢、職業、居住地、出身地についてお聞かせください。

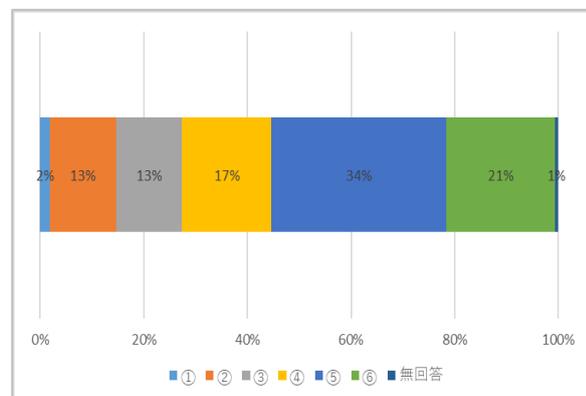
(1) 性別

① 男性	67
② 女性	89
③ その他	0
④ 答えたくない	1



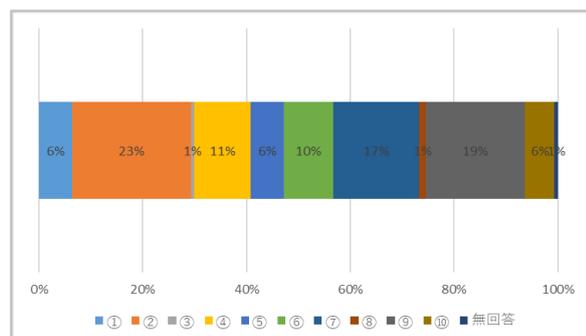
(2) 年齢

① 20 代以下	3
② 30 代	20
③ 40 代	20
④ 50 代	27
⑤ 60 代	53
⑥ 70 代以上	33



(3) 職業

① 会社経営・役員	10
② 会社員	36
③ 公務員	1
④ 団体等職員	17
⑤ 農林水産業	10
⑥ パート・アルバイト	15
⑦ 専業主婦（主夫）	26
⑧ 学生	2
⑨ 無職	30
⑩ その他	9



※「⑩その他」の回答

- ・ 自営業
- ・ 障がい者施設運営
- ・ 音楽家
- ・ ライターと主婦

(4) 居住地

盛岡市	29	滝沢市	5	岩泉町	0
宮古市	5	雫石町	1	田野畑村	2
大船渡市	4	葛巻町	0	普代村	1
花巻市	11	岩手町	3	軽米町	1
北上市	10	紫波町	3	野田村	0
久慈市	4	矢巾町	6	九戸村	0
遠野市	4	西和賀町	1	洋野町	2
一関市	13	金ヶ崎町	3	一戸町	2
陸前高田市	2	平泉町	2	紫波郡	1
釜石市	4	住田町	1	下閉伊郡	1
二戸市	2	大槌町	1	沿岸北部	1
八幡平市	5	山田町	1	岩手県	5
奥州市	19				

(5) 出身地

盛岡市	27	奥州市	19	大槌町	0
宮古市	7	滝沢市	0	山田町	1
大船渡市	3	雫石町	3	岩泉町	3
花巻市	5	葛巻町	1	田野畑村	1
北上市	8	岩手町	3	普代村	1
久慈市	4	紫波町	1	軽米町	0
遠野市	8	矢巾町	1	野田村	1
一関市	16	西和賀町	1	九戸村	0
陸前高田市	2	金ヶ崎町	1	洋野町	1
釜石市	4	平泉町	2	一戸町	1
二戸市	3	住田町	1	県外	21
八幡平市	4				

※県外の内訳

【宮城県】丸森町 1

【山形県】山形市 1

【茨城県】茨城県 1

【千葉県】松戸市 1

【和歌山県】和歌山市 1

【長崎県】長崎市 1

【その他】県外 2、他県 1

【秋田県】秋田市 2、横手市 1、美郷町 1

【福島県】いわき市 1、相馬市 1

【群馬県】前橋市 1

【東京都】新宿区 1、目黒区 1、府中市 1

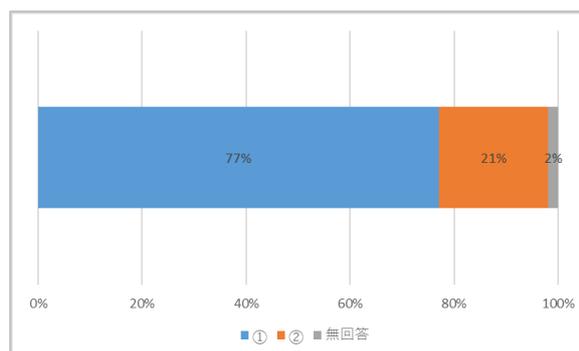
【岡山県】岡山市 1

【鹿児島県】喜入町 1

問2 あなたは「消防団」という組織をご存知ですか。あてはまるものを1つ選んでください。

消防団は、消火活動のみならず、地震や風水害等多数の動員を必要とする大規模災害時の救助救出活動、避難誘導、災害防御活動など非常に重要な役割を果たしています。さらに、平常時においても、住民への防火指導、巡回広報、特別警戒、応急手当指導等、地域に密着した活動を展開しており、地域における消防力・防災力の向上、地域コミュニティの活性化に大きな役割を果たしています。

① 活動内容も含め、知っている	121
② 名前だけは知っている	33

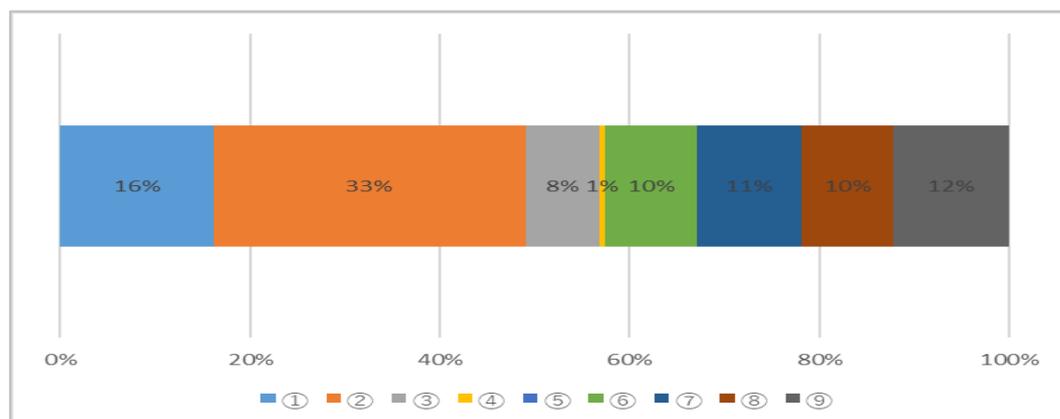


問3 あなたが消防団を知ったきっかけについて、あてはまるものを1つ選んでください。

① 家族が消防団員	25
② 友人・知人が消防団員	51
③ テレビ・ラジオで知った	12
④ SNS (X、TikTok、インスタグラムなど) を見て知った	1
⑤ YouTube を見て知った	0
⑥ 市町村の広報誌で知った	15
⑦ 災害時に活動している姿を見て知った	17
⑧ 訓練をしている姿を見て知った	15
⑨ その他	19

※「⑨その他」の回答

- ・新聞やチラシ、ポスターで見たため。
- ・家族から聞いたため。
- ・過去に家族や親戚が消防団員だったため。
- ・地域に消防団があったため。
- ・子どもの頃から活動（火災現場への出動や火災予防、点検等）を見て知っていたため。
- ・婦人消防隊に所属したことがあったため。
- ・自治会活動の中で知ったため。
- ・業務上消防団と関わっているため。
- ・東日本大震災の際に、各地で犠牲になった方々がいたのを見たため。

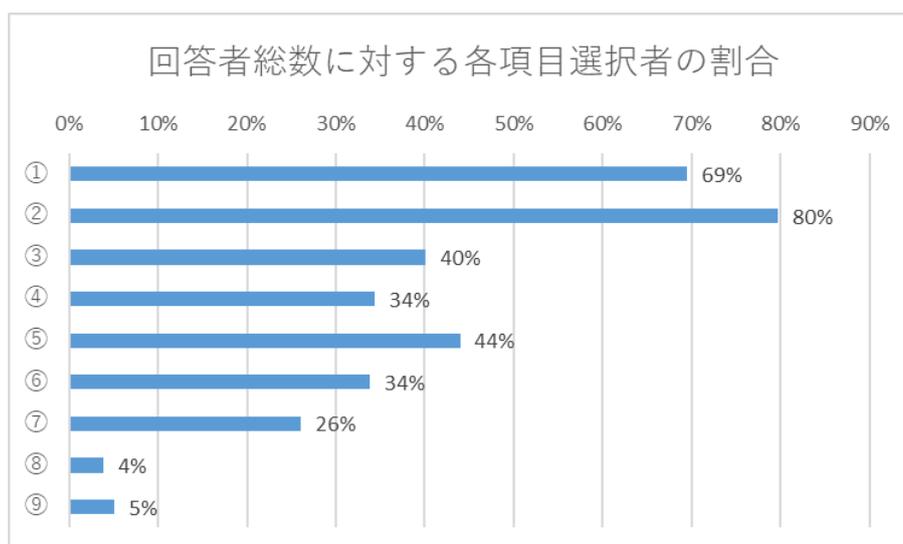


問4 あなたは「消防団」に対してどのようなイメージを持っていますか。あてはまるものを全て選んでください。

① 火を消してくれる	109	(69%)
② 災害時に助けてくれる	125	(80%)
③ 訓練が多い	63	(40%)
④ 飲み会が多い	54	(34%)
⑤ 休日がなくなりそう	69	(44%)
⑥ 家族に負担がかかりそう	53	(34%)
⑦ 上下関係が大変そう、厳しそう	41	(26%)
⑧ わからない	6	(4%)
⑨ その他	8	(5%)

※「⑨その他」の回答

- ・大変そう。
- ・いい話を聞かない。品がない。イメージが悪い。
- ・活動の割には報酬が少ない。
- ・地域のために活動していることをありがたく思う。大変な活動だとも思う。
- ・本業の人と違って装備が軽い(はっぴに長靴)ので、災害の最前線にいて大丈夫なのかと思うことがある。例えば東日本大震災、雲仙普賢岳など。
- ・大会が近くなると、朝5時頃から練習をするが、大声で話をし、練習時間が短い。放水練習時もこの時代に使い放題。奥州市の生協駐車場、近隣住民大変迷惑している。県から一言注意してほしい。

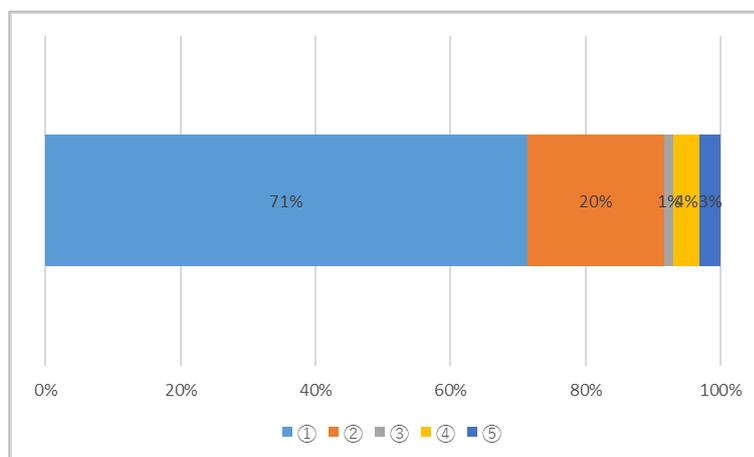


問5 あなたは消防団の活動をどのように評価されますか。当てはまるものを1つ選んでください。

① 地域の安全に大きく貢献しており必要不可欠である	112
② 地域の安全にやや貢献しており必要である	32
③ 地域の安全にあまり貢献しておらず必要ない	2
④ わからない	6
⑤ その他	5

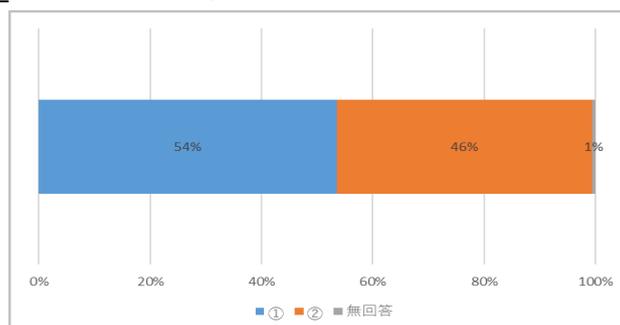
※「⑤その他」の回答

- ・制度自体に時代との乖離を感じる。(消防団の方々は本当によく活動されていると感じ、尊敬している。)
- ・訓練、パレードなど見ると人数がとても多く、安全に大きく貢献というより、イベントなどのイメージで見ている気がする。
- ・地域に貢献しており現在必要に迫られているが、公的機関の消防組合で対応してほしい。
- ・地域の安全に大いに貢献していると思うが、必要不可欠かは分からない。
- ・良いイメージがあまりなく(インターネットや知人の話より)、平時は仕事の後に訓練、巡回、休日は飲み会というイメージを持っている。消火活動も消防士のイメージがあり、また、具体的な活動も不明であり、イメージ先行してしまっているため、消防団の活動に対する評価は出来ない。



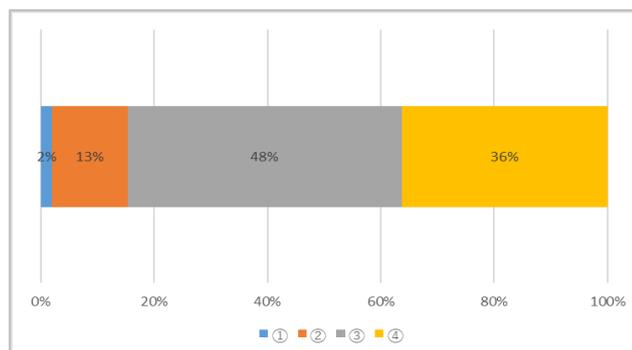
問6 あなたは、大学生・短大生・専門学校生等や女性でも消防団員になれることを知っていますか。当てはまるものを1つ選んでください。

① 知っている	84
② 知らない	72



問7 あなたは消防団員になりたいと思いますか。当てはまるものを1つ選んでください。

① 非常にそう思う	3
② ややそう思う	21
③ あまり思わない	76
④ 全く思わない	57



問8 問7のように考える理由について、御記入ください。(自由記載)

① 非常にそう思う

1	地域コミュニティ維持に重要な組織なので、日頃から何か協力したいと考えている。
2	自身も防災指導員として活動しており、災害等を含め非常に興味がある。
3	小さい時から洪水や火事の際、見て育ったが、今は高齢者になり、体が動かない。口で伝える事をやってみたい。

② ややそう思う

1	地域貢献したいから。
2	人口がかなり少なくなっているが、自然災害や動物との共存など難しい問題は多く、応急処置などが必要な場面に遭遇する機会のためにも、講習などがあれば受けておきたい。子育て中のため出勤要請に添えないと思うが、その場での誘導など、団員への手助けになればと思う。
3	必要不可欠と思うが年齢的に厳しい。
4	地域のために活動していただいておりますが、ありがたく感じるが、いざ自分が時間をそのために割けるかとなると、優先順位が低くなってしまいます。
5	男性のみだと思っていたが、女性でもなれると知ったから。
6	少人数でも女性がいるといいと思う。
7	これからは共助が必要なため。
8	過疎の町、村で近くに消防署がないときは身近な人達が消防団員となって助けてくれるから。
9	費用的負担がなければ参加したいと思う。
10	あまりにも過酷な仕事をしていると感じるので、いくらかでも軽減できたらという思い。

③あまりそう思わない

1	若い時は思った。
2	過去に協力隊員で活動していた。
3	年齢や体力的に難しいため。
4	仕事と家庭を考えると時間がなく活動が難しいため。
5	消防演習や操法大会、飲み会等に参加したくないため。
6	消防署員と消防団員は本質的に違う立場の存在であると思う。
7	年齢的な理由や身体的な不安により、消防団員として活動に参加することでかえって迷惑をかけてしまうと思うから。ただ、消火活動に関する基礎知識の習得や初期消火や救命講習・応急手当について学ぶ機会があれば参加してみたい。
8	地域の活動について、いつでも活動が出来る状態にしておかなければいけないと思うと、家族の精神的負担が気になるため。
9	夜勤のある仕事なので、出勤に対応できない。
10	職場に近くないと活動が難しい。
11	訓練するとはいえ、実際の災害時に自分の安全を確保しつつ、地域や誰かのために貢献できるか考えたとき、無理だと思った。
12	知人が、子育てで大変な時期なのに、消防団の訓練が始まると夫が帰ってこないと怒っていたのが忘れられない。
13	給料など何か手当があるか分からないから。
14	転勤族の為、長年地域を離れ単身赴任生活をしたため。
15	手当が少なく、時間を削った分に見合った手当が出ていない。ボランティアに近いイメージがある。
16	古いイメージかもしれないが、知人の話し等から飲み会が多い印象を持っており、正直気が進まない。
17	女性にできることがわからない。

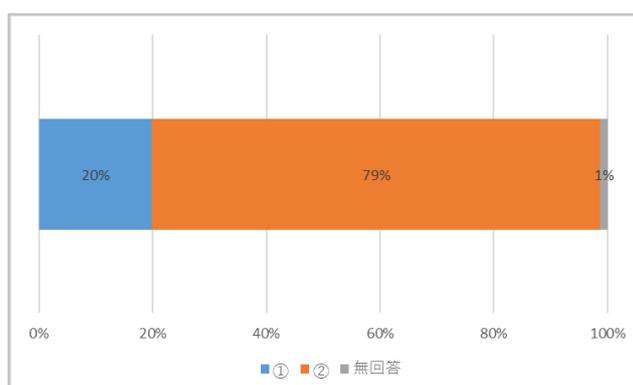
④全く思わない

1	若い人をお願いしたい。
2	消防団は火災や災害時に消防署と協力してその補助を行う上で、危険が伴い、且つ特別職の公務員であっても報酬や出動手当、公務災害補償など待遇面が劣っている。(これは岩手県に限らず全国的な問題)
3	メリットがないため。
4	入って当たり前前なんだからと半ば強制ぎみな態度で入団を促されたことがある。年代的には当たり前かもしれないが、理不尽な上下関係や飲み会で暴れる人がいるなど、本当の話ではないかもしれないが、入りたいと思わない。また、消防士が消防団員に対しても見下す態度で接することが多々あると聞いている。

5	活動のわりに報酬が少ない。
6	日頃の訓練や飲み会、コミュニケーションなどの負担感と、自身が参加することでの地域への貢献のコストパフォーマンスが悪いと感じるため。
7	年齢や体力的に難しいため。
8	仕事と家庭を考えると時間がなく活動が難しいため。
9	いざという時の大変さを考えると、家族の形態にもより、参加したくても無理が生じると思う。「仲間作りだけの会」になりかねないと思う。
10	地域に必要なと思う反面、強制的な活動や仕事であれば仕方がないが、プライベートの時間が削られることは考えづらい。
11	消防隊員がいるのだから一般市民の火消しの流れから頼らないでほしいと思う。報酬の少なさも最近はニュースになったり微増しているが、アルバイトよりも待遇が悪く、今後ますます団員数は減ると思う。市職員などは団員の代わりに消防訓練を受けるなど仕事としての対応でないとやりがいでないでは活動したいと感じない。昔よりは活動の仕方も変わってきてはいるが、自分の子供に消防隊員はよいとしても団員はなってほしいと思わないから。
12	婦人消防協力隊を長年務めてきたが、人口減少で定年が75歳まで延びた。体力的についていけない。都市部の団員を増やしてほしい。
13	地域防災は地域で守るのが基本と思うが、必ずしも既存の「消防団」である必要は無く、しがらみの無い公的防災組織（消防、救急救命、水防、地震防災など）が別に必要で有ると思います。
14	入ったら最後、辞められないイメージ。やりがいより、上下関係やしがらみ、面倒なことが多いイメージ。
15	活動内容がわからない。
16	自分の生活で精一杯で、誰かを助ける余裕がない。
17	知人が消防団の活動で死亡したので、絶対に入りたくない。
18	実際、地域に貢献しているかわからないから。

問9 入団説明会や体験入団ができる機会があれば、参加したいと思いますか。当てはまるものを1つ選んでください。

① 参加したい	31
② 参加したくない	123

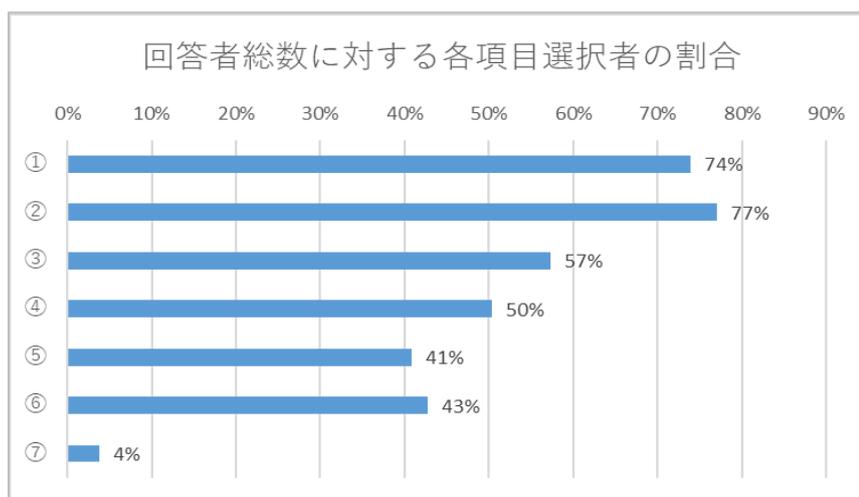


問10 あなたが消防団に望むことについて、当てはまるものを全て選んでください。

① 消火活動	116	(74%)
② 災害時の避難誘導	121	(77%)
③ 火災予防活動	90	(57%)
④ 住民に対する消防訓練、応急手当等の指導	79	(50%)
⑤ 行方不明者の搜索	64	(41%)
⑥ 地域行事での警備活動	67	(43%)
⑦ その他	6	(4%)

※「⑦その他」の回答

- ・除雪作業
- ・避難時の確認歌や音頭（鼻歌で安全確認を思い出す）など日常に馴染む取組み
- ・災害時の身近なリーダーシップ
- ・消防団に対して、「②災害時の避難誘導」や「④住民に対する消防訓練、応急手当等の指導」、「⑥行方不明者の搜索」は望むが、それは報酬がある場合であり、無報酬であれば、特に求めない。労働の対価がないのに、求めることがおかしいと思う。



問 11 あなたは県や市町村の「消防団応援の店」制度を知っていますか。当てはまるものを1つ選んでください。

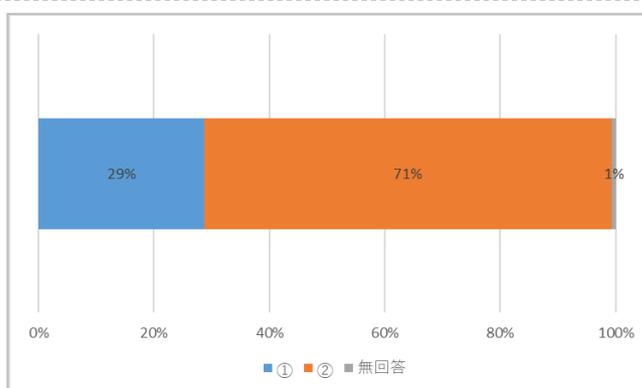
「消防団応援の店」制度とは・・・

地域の安全・安心を守るため活動している岩手県内の消防団員の皆様に対し、趣旨に御賛同いただき消防団応援の店として登録していただいた店舗及び事業者の皆様から特典や割引等のサービスを提供していただくことにより、消防団を応援していく制度です。県や一部の市町村で実施しています。

※ 県の制度における登録店舗数 : 415 店舗 (令和6年7月1日現在)

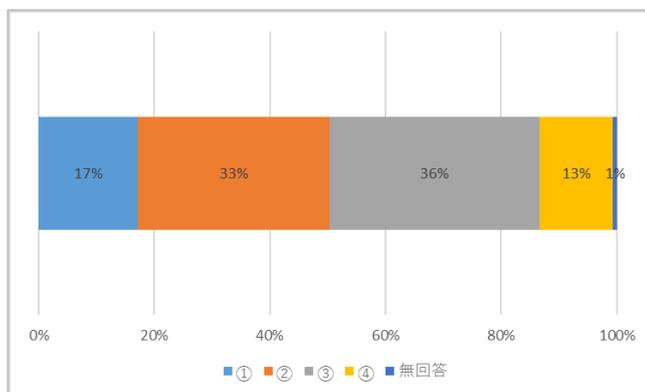
サービス内容の一例: ドリンク1杯無料、料金5%割引、粗品贈呈

① 知っている	45
② 知らない	111



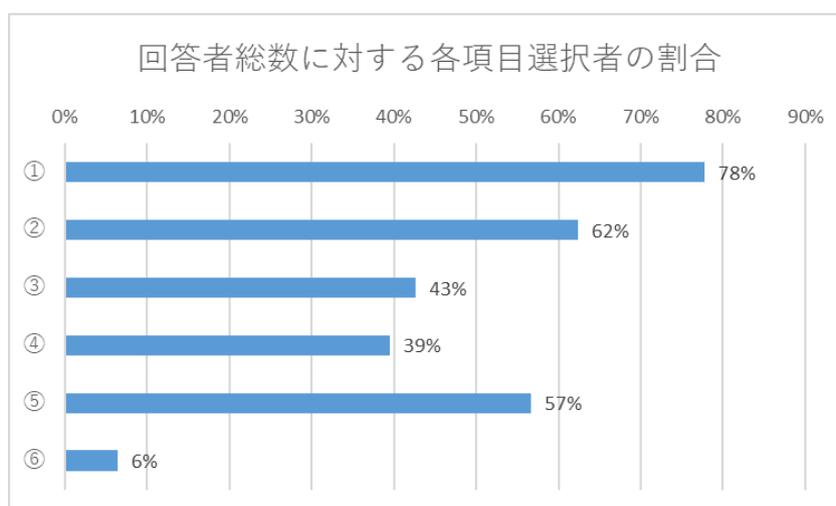
問 12 「消防団応援の店」で団員が受けられるサービス内容について、魅力を感じますか。当てはまるものを1つ選んでください。

① 非常に感じる	27
② やや感じる	52
③ あまり感じない	57
④ 全く感じない	20



問 13 「消防団応援の店」を多くの人に知って頂くために、効果的と考えられるものを全て選んでください。

① 店頭に掲示するステッカーを目立つものにする。	122	(78%)
② 店内の掲示で特典サービスの内容を紹介する。	98	(62%)
③ 各店舗の自社ホームページで、消防団応援の店に登録していることと、特典サービスの内容を紹介する。	67	(43%)
④ 店舗検索サイト内のページで、消防団応援の店に登録していることと、特典サービスの内容を紹介する。	62	(39%)
⑤ 地域情報誌やSNSで告知する。	89	(57%)
⑥ その他（具体的に回答用紙に記入してください）	10	(6%)



問 14 県では、消防団員としてやりがいを持ってもらうために、県による表彰や消防団応援の店の登録拡大に取り組んでいますが、他に効果的だと思われる取組があれば、御記入ください。（自由記載）

1	詳しい消防団員への制度があるかわからないが、消防団員自身や組織から、規約や運用で負担低減など改革の提案を受けて改善になる提案に対して表彰制度を設けたらいかがでしょうか？
2	団員の皆さんは日々使命感をもって業務に従事しています。報酬や手当の拡充のほか、表彰制度をもう少し拡充することで、やりがいが一段と増すのではないかと考えます。
3	「消防団員サポーター」のような、一つ前の段階があれば参加したいです。
4	消防団員の役割を現在の様に危険作業に携わるものから、日常の啓発・広報活動の存在にしていきたい。
5	特典サービスとはでなく、皆やってみようというような事を広報してほしい。やってる方々の中には、名誉と思ってやって、表彰とかはやめてほしい。やりがいを前面に出して欲しい。

6	表彰式を子供や孫が在籍する学校で実施できるように協力を仰ぎ、消防団の活動と尊さを子供たちにアピールする。
7	真っ当な報酬
8	ジム等の年会費割引
9	わからない
10	消防団の存在は知っていても具体的な活動内容を知らない人が多いのでは…？地域の防災訓練などに参加して活動をPRしていくといいと思う。
11	手当の増額
12	応援の店特典がJAFの特典と似たような感じなので、もっと手厚くしてあげても。
13	団員への報酬・手当等の改定（増額）
14	若い世代の活躍の様子を広報紙に掲載する
15	ボランティア報酬の増
16	活動自体があまり浸透していないのが現実かと思います。 若い方をはじめ消防団自体の実態があまり解ってないと思われる。 1, 自治会等でPR活動を行う。 2, 自主防災組織、消防署、市防災課等の連携で活動する。 3, 社会人になった時、転入した時などには、募集案内と、直接声掛けを実施する。
17	消防団員の仕事は過酷だがとても責任があり市民にとっては有り難いもの 地域で色々なお役目があるが、消防団員であれば免除出来る役とかがあれば良いと思う
18	日頃の活動に対する評価が意欲につながるといいますので、表彰とか成果に対してではなく、存在に対する評価があればと思います。 定期的な広報による団員の紹介など。
19	消防団というと「ボランティア」みたいなイメージがあるので、そういう者をきちんと知らせる活動やSNSでの告知や周知が欲しい。
20	報償費の増額
21	防災士、防災管理士、消防設備士、救急救命士、准看護師、ドローン操縦等の資格がもらえる。報酬アップ
22	多くの役割を負わせない
23	TVやラジオ等での周知はどうでしょうか。
24	ともすると、やりがい搾取になってしまうので、あまりその方向で考えないほうがいいかと考えます。やりがいに加え、金銭的な報酬や飲み会を減らすなど、実利的なメリットを高めていくことを検討する方向はいかがでしょうか。その方が現役世代には理解が得られやすいと考えます。
25	学校・企業のバックアップと広報（若人向け）
26	団員への特典や補助（研修交流） 応援の店への補助
27	そもそも、消防団のイメージが昔のままの人も多いのではないかと思います。今の消防団の活動内容をもっと発信したり、アピールすることは大切だと思います。
28	諸手当の説明、周知

29	火災など出動時、工作中といった場合が多いと思うので、勤務先にも特典をあげることがあっても良いと思う。
30	高額報酬が効果的だと思います。
31	広報などで広める
32	品物、特典（物で寄せてる様で私的には違和感）功績があった時、出勤作業発生した時でも十分に思える。個人的には経費削減、必要時に大切に費用を動かすが好みです。
33	広報誌などでリレーで消防団員を紹介し、経験ややりがいを伝えてもらう。消防団シリーズを組む。 また各地で活動の写真展などを行う。
34	手当を増やす。
35	地域の他の役員や委員と連携し、地域全体に活動の認識を広める
36	やりがい・・・？本当に好きで入団した方なら、あまり”ごほうび”的なものを希望している方は少ないと思う。そういうのでやりがいを持たせる、という考えには疑問。
37	活動内容に合わせて報酬やポイントが支払われる
38	出動回数が多い方には食事券をプレゼントする。
39	応援の店という取り組みを今回初めて知りました。消防団の担い手が不足とはあちこちで読んだことがある。自分は年齢的にも体力的にも迷惑をかけるだけなので無理だと思う。しかし何らかの形で支えたり応援したりする側としての参加はできると思う。そのようなサポーターを募るのもいいかと思います。
40	出動手当を上げるべきかと
41	表彰されても陰の立役者は表彰されにくい。やりがいだけでは貢献できる人は少ないと思う。消防団員という仕組み自体を考えたほうが良い。
42	永年勤続表彰はもちろんですが、新団員のプロフィールや、新団員を紹介して入団した際には、特典(商品券や金一封)を進呈するなど。
43	給料、手当がしっかりあれば検討したい。
44	活動に対応する其れ相応の対価（金銭に限らず）。
45	婚活 etc イベント？！
46	報酬が支給されていると思いますが、本人へ直接、出た日に日払いにして、やりがい感をもってもらおう。
47	一関市消防団では「消防団だより」を発行しており、これにより活動を知ることができる。
48	表彰、手当
49	消防官になることを希望する学生が多い割には、そういう学生たちも消防団への入団には消極的という不思議な現状がある。学生層に入団してもらえそうな工夫があると良いと思う。
50	若い人が無理なく活動していることを広く知らせるようにすれば増員につながると思います。
51	会社員、自営業者 かかわらず、活動に対しての適切な報酬

52	団員としてやりがいを持ってもらうために、消防団応援の店、登録拡大が効果あるとは思えない。しかし特典サービスが目的ではないが、家族等の理解協力により活動できるので、例えば皆勤者（精勤には近場の温泉入浴券、長期間活動者には旅行券等々大局的に優遇？出来ないのでしょうか。
53	手当の増額
54	活動参加の強要や飲み会、飲酒運転などネガティブなイメージの払拭が必要と思います。
55	手当の金額をもっと増額し、かつ、団による個人への手当の積立てや団活動費（団の飲み会の費用に回されていると聞く）への強制的な負担強要を無くすべき。
56	活動に応じて報酬があればいいと思います。
57	地域の協力体制やコミュニケーション能力を高めるための具体的な指針やきめ細かな活動支援の充実が「カギ」となると思う。
58	私自身身近に消防団員がいない為、詳しい事は分からない部分が多い。消防団の活動について地域住民に周知して、活動内容を知る事で住民として感謝の気持ちを持つようになりたい。団員がやりがいを持って活動するためには、入団による対価の他に、団員として誇りを持てるようになると良いと思う。
59	報酬等の引き上げ。活動中のケガなどに対する保証の充実。
60	訓練の公開などを告知して欲しい
61	地域の人との関わりがあること
62	最低賃金の支払い
63	報酬を増やす
64	子供たちとのふれあいイベントを実施（小・中・高）内容は変える
65	どのような活動をしているのか、私は知らなかったなので、まずは活動の内容を知らせる活動が必要だと思います。
66	テレビで消防団員の役割や活動をニュースの中で取り上げると見る機会が増えると思う。
67	広報活動を積極に行う
68	つい最近までは、無報酬で活動していたように思います。小学生の頃、町内会費を集める仕事をお手伝いしたことがあったのですが、「夜警費」という名目で、ほんとに微々たる費用しか支給されていなかったように思います。現在のように、市町村での予算化はされていなかったように思います。この制度は廃止すべきではありません。
69	報酬が出るはずなのできちんと登録した人個人に渡るようにする。活動日、活動内容、団員の権限の範囲など災害を想定して具体的に提示する。団員としてすることしなくていいことを明確にする。広報などで広く知らせることで地域の消防団員への理解が進むと思う。
70	出動や訓練手当の増額
71	わんこきょうだい、ガンライザーなど、キャラクターたちが消防団員に扮した動画をYouTubeにアップする。活動内容などをアピール。
72	やりがい等ではなく、報酬が一番

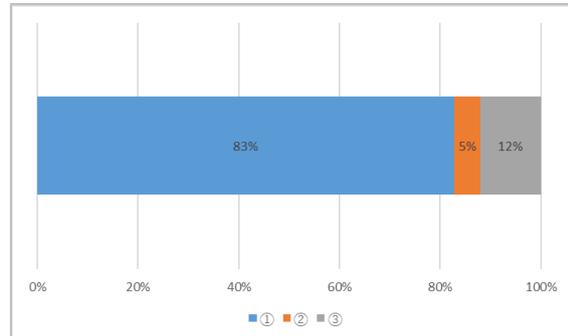
73	やはり、表彰プラスお金。お店の善意にも補助があると良いと思う
74	報酬の増加。定期検診などを無料で受けられる。
75	報酬増やす
76	お給料とは別に、上記のような飲み代ではなく、ご家族の協力、ご理解、支えがあつての活動だと思うので、家族等で活用できる商品券などを支給する。
77	わかりません
78	活動に見合った賃金の発生

問 15 市町村によっては、機能別団員、機能別分団の制度や、DXやドローンの最新技術を導入していますが、これについてどう考えますか。当てはまるものを1つ選んでください。

消防団では、特定の活動（火災予防・広報活動や大規模災害での出動など）のみに参加する消防団員（機能別団員）や、市町村等で定めている特定の役割、活動を実施する分団（機能別分団）の制度があります。

また、DX（デジタル）技術の活用（例：消防団向けアプリを活用した被害状況の情報共有、出動指令、活動報告）に向けた取組や、ドローンの活用（火災時の状況確認や災害時の救助者捜索）が進められています。

① 今後、導入を進めていくことが望ましいと思う。	130
② 積極的に導入していく必要性は少ないと思う。	8
③ 分からない	19



問 16 問 15 のほか、消防団員の負担軽減につながるような取組があれば、御記入ください。

(自由記載)

1	問 1 4 で上げたような新たな技術を利用して情報共有することで消防団員の負担軽減につながることを消防隊員より、提案いただく。例えば AI を利用した被害予測などを気象庁などと連携する提案など
2	若年層の入団がなく高齢の団員が多い地域もあると聞きます。国が主導して、DX 技術やドローンの活用促進することで負担が軽減するものと考えます。また、消防団員の最も基礎となるポンプ操法の技術練磨は重要ですが、その操法競技会の在り方についても見直す時期にあるのではないかと考えます。
3	消防団員の社会的負担をDX（デジタル）技術の活用（例：消防団向けアプリを活

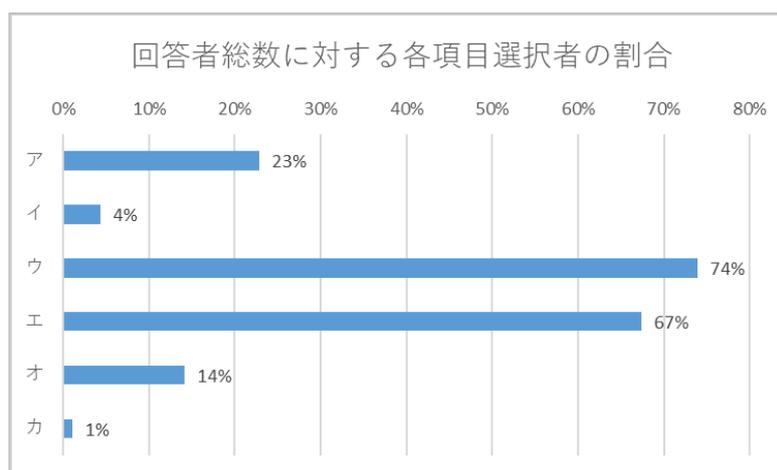
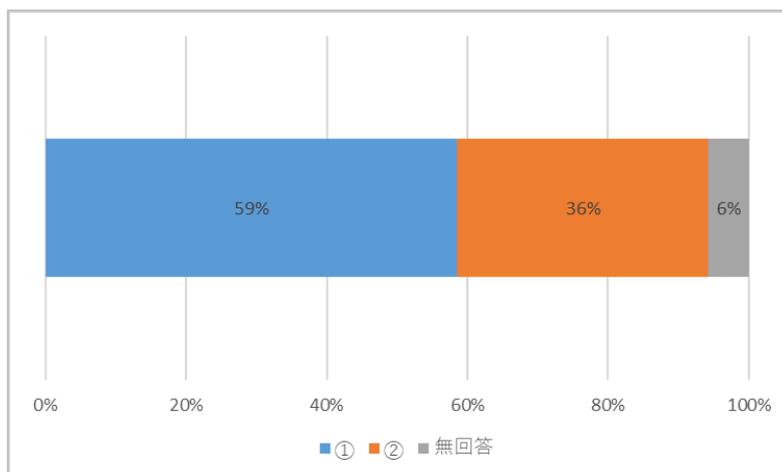
	用した被害状況の情報共有、出動指令、活動報告)に向けた取組に向けるべきで、危険を伴う活動は、民間でもそれに応じた組織があるのだから、また日常生活の犠牲を強いる活動はしない方向でなければ、一般人を消防団員として紹介することはできない。
4	若い人達が団員になるように広報して下さい。
5	すみません、思い付きません。
6	特に思い付きません。
7	出勤に対する職場の理解、出勤した時は有給扱い
8	防災についての啓発活動
9	消防士との連携 消防団員の仕事を具体的に見える化する
10	防災士、防災指導員、防災課、連携を深めていく。
11	夜中の消火や救助作業の翌日の仕事を休める制度を国全体で進める
12	消防団の毎年おこなわれる訓練協議会は負担が大きいのでは。出る方、応援の方の負担の割に実際効果は？
13	他地域でのグッドケースなどの取り組みに関しては、私には分からないので、県庁で調べていただけると助かります。
14	仕事と学業の両立（活動を認める事、公認欠席に）
15	消防団員の方々が負担と感じている事が解らない。
16	大演習や操法大会などの時間短縮、または内容の改善。訓練は大事だし、演習や大会自体はあってもいいとは思いますが、遠方から参加する分団や分団員、またその家族の負担が大きいと感じる。団員が減少しているからこそ、内容を見直した方が良いと思う。
17	普段から練習をしていないと、いつ災害が起きるか分からないので定期的訓練が必要で、軽減することが難しいと思う。
18	前述されている消防団の活動内容が多すぎるので、業務分担を行い消防団の中でも部署ごとで活動することが望ましいのではないのでしょうか。
19	自分の住んでる場所なので皆がその知識を持てばより安全性高く連携できる直していく形でハンドの無い方は純番にこなして行く回って行く
20	地域行事の警備活動をなくす。(専門団体に託す)
21	有効な機器の活用は今後とも工夫してすすめる。有事の時の応援団員制度を作り、人員不足を補う
22	消防団に入れば、大なり小なり、負担があるのはあたりまえと思う。そこを考えた取り組みは、どこでも大きな問題だと思うので、一言では表せない。
23	手当の見直しの記事は読みました。税金からの補助を増やすべきだと思います。
24	消防団のスタッフを増加させるため、消防団の制服など、服をスタイリッシュにする。ハッピー姿はやや時代遅れかもしれない。

25	活動に際して、本業に従事している会社等所属への就業義務免除要請。
26	敷居を低くして、人を取り込む方向だといいいのでは？
27	消防職員の大規模採用（資格付与）
28	誤報時の撤退連絡
29	各消防団員に情報をすぐ知る事ができるような、グッズを配布するかスマホ等ですぐに情報共有できる方法を考える。
30	活動時間の上限を設ける等、過度の時間的拘束にならないようなシステムの構築。
31	メリットがたくさんあれば団員さんも増えると思う増えれば行けない時でも代わりの方々がいる。
32	火災現場等の出動などの際、企業（会社）の理解
33	資格取得のための補助制度
34	業務として訓練された行政組織の消防署員が主体となるべきと思います。消防団の法被？やラップが役に立つとは思えません。
35	訓練の内容が、大会のための練習的なものになっていて、実際の消防活動で役に立たないものになっていると聞く。団員の負担を軽減するために、まず実践的な訓練を実施すべきとマンネリ的な活動を見直すことが必要。
36	地域で自由に活動に参加できる仕組み、及び活動できる人員の確保が重要であり、例えば地域に常在している職人や学生等若者（婦人を含む）を中心とした協力体制の維持と取り組める時間帯等支援が必要。
37	消防団員の家族にも家族手当のようなものを支給することで、団員の心の負担が少しは軽くなるのでは…
38	消防操法大会参加のための訓練が大変そうに思います。さらに代表になれば連日練習日となり団員の負担が増します。大会内容の見直しも必要ではないでしょうか。
39	難しいですね。過ぎればいざという時に、人員確保が困難になるかもしれません。
40	有職者であれば会社の理解協力が不可欠であるので、公共団体等が積極的に働きかける必要がある
41	稼働日の日当を手厚くする
42	最新情報技術を導入しての各団員の負担を軽減する仕組みの構築が必要であると考えます。
43	もしもの時、団員へのホローアップの体制を明確に提示する。
44	地域において年齢に左右されずに消防活動に参加できる機会があると思う。例として自治会組織の中で婦人として予防策等活動参加の機会を設けることも、担い手育成に繋がると考えております。
45	住民に対する消防訓練、応急手当等の指導や火災予防活動等は、一般市民が代行でよろしいと思います。

問 17 あなたは、県や市町村の消防団員募集の広報を見たことがありますか。

① 見たことがある	92
ア テレビ・ラジオ	21
イ SNS (X、TikTok、インスタグラムなど)	4
ウ 広報誌	68
エ ポスター・リーフレット・のぼり	62
オ イベント等での広報	13
カ その他	1
② 見たことがない	56

※「カ その他」の回答
・ない



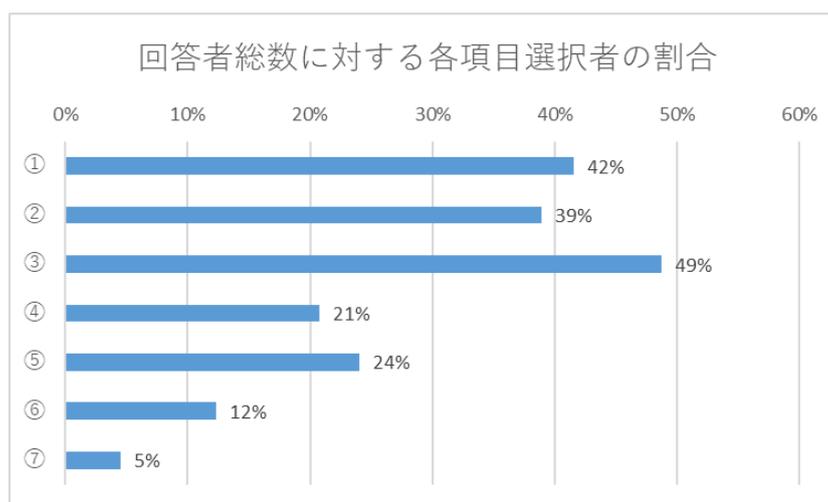
問 18 消防団員の入団を促進するに当たり、どのような広報媒体が有効だと思いますか。

次の中から当てはまるものを2つまで選んでください。

① テレビ・ラジオ	64	(42%)
② SNS (X、TikTok、インスタグラムなど)	60	(39%)
③ 広報誌	75	(49%)
④ ポスター・リーフレット・のぼり	32	(21%)
⑤ イベント等での広報	37	(24%)
⑥ タレントやキャラクターを活用した広報	19	(12%)
⑦その他	7	(5%)

※「⑦その他」の回答

- ・週刊少年ジャンプで消防団マンガ
- ・現在の団員からお誘いする。人から人へ。
- ・団員の都合を最大限に取り入れ、啓発活動は最小限のシフトを組んでやった方がいい(年配、経済は抜きに)。
- ・社会人になったとき、転入したときなどには、募集案内と直接声掛けを実施する。
- ・高校生へのリーフレット配布
- ・インスタグラムやティックトックなどの SNS の広告運用 (もっと、そもそもの問題だと感じるが)。
- ・直接、勧誘活動を行う。
- ・職場等での啓発 (広報) 活動
- ・義務化して、各自が出来ることをする。



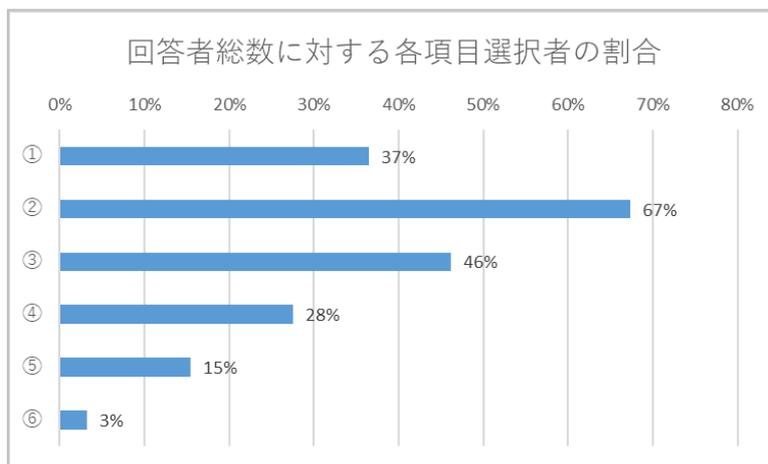
問 19 消防団員の入団を促進するに当たり、どのような広報内容が有効だと思いますか。

次の中から当てはまるものを2つまで選んでください。

① 消防団の役割	57	(37%)
② 報酬・手当や活動内容	105	(67%)
③ 消防団へ入団するメリット	72	(46%)
④ 現役団員の声（やりがい、使命感など）	43	(28%)
⑤ 学生や女性団員の活動紹介	24	(15%)
⑥ その他	5	(3%)

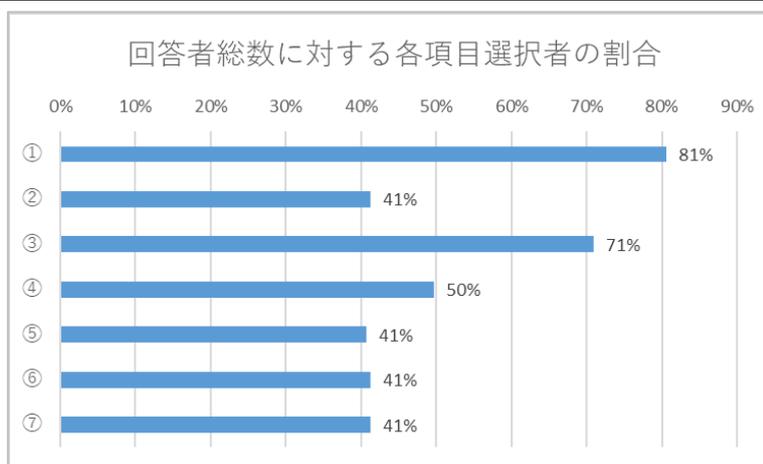
※「⑥その他」の回答

- ・お世話になった方からの感謝の言葉。
- ・活動の際の本業減収等への補填。
- ・ネガティブなイメージ（飲み会など）を変える。
- ・消防団が必要とされている理由。



問 20 全国的に消防団員の減少傾向が続いていますが、入団者が増加するような魅力ある消防団にするためには、どのような対策が有効だと思いますか。当てはまるものを全て選んでください。

① 報酬・手当の増額など処遇を改善する。	125
② 活動内容や訓練回数を減らし、負担を軽くする。	64
③ 事業所に消防団活動への理解を求める等、サラリーマンの団員でも活動に参加しやすくする。	110
④ 消防団員を雇用する事業所等に優遇措置を行う。	77
⑤ 地域住民への消防団活動の理解や認知度を高める。	63
⑥ 消防団員が、新しい技術（DX、ドローン）を災害対応等で活用できるようにする。	64
⑦ 機能別団員や機能別分団など、団員のニーズに応じた活動形態を整備していく。	64



問 21 その他、消防団員の増加のために効果的だと思われる取組があれば、御記入ください。(自由記載)

1	特になし
2	消防団の業務内容を十分浸透させるには、地域の総合防災訓練や防火査察などで広報活動を展開し、消防団員の皆さんの報酬や手当の処遇改善と活動負担軽減が急務であると考えます。また、ある県では外国人の消防団員を募り活動しているところもあると聞きますが、外国人団員の場合、消防団活動に必要な緊急車両の優先通行など、公権力の行使に携わることができないため活動の一部が制限されてしまうケースがあるようです。国ではガイドラインですみ分けているようですが、グローバルな社会となっている今、外国人にも公権力を行使できるよう法改正が必要ではないかと考えます。(脱線しますが、これは公務員全体にも言えることです。)
3	報酬、手当を上げる。安い。

4	社会的ボランティアとして極力危険作業等につかない様にするべきである。 一般人に危険手当て・危険保険のついた活動は必要では無いと思います。
5	やりがいがあるんだ等を広報などで頻繁に打ち出しては
6	知人、友人と気軽に参加できる雰囲気作り。
7	インスタを始める
8	防災組織が組まれている地域、会社、学校でも学年に合わせて、救助方法、応急処置、AEDの取扱いについて学ぶ機会を作り、消防団員の活動と共通する部分を知ってもらう。
9	消防団主催のイベントなどを開催し、興味のある方に来てもらい、知ってもらう。
10	勧誘に行っても親が出てきて断らないこと。本人とお話しすること。
11	消防団への入団するメリットを広報する
12	アルバイト制 1回活動する毎に金銭支払う
13	消防団・消防団員・消防団活動などの見える化をして、全体像を理解してもらうことから始めたいもの
14	婦人消防協力隊と消防団、又は他地域の組織の方々との交流会やセミナー等を実施する。
15	功には禄を…のように、労力を割いてくれた事に対する評価、報酬がきちんとなされている事が大事なのではないかと思います。
16	活躍しやすい環境の整備（出勤回数の調整など）報酬の定期的な見直し
17	<ul style="list-style-type: none"> ・役所に勤める正規の公務員が、全員消防団になることを義務づける。 ・消防団員の出勤報酬は消防署職員の給与の時給割にした額を出す。 ・公務員共済年金に入れるようにする。 ・報酬が年金の積み立て金になる。 ・勤務中に消防団活動をした場合、その分資金を自治体が補償するとか
18	地域の祭りなどで中高生のボランティアが活動しています。このように中高生に働きかけて地域の活性化、地域防災の意識を高め、団員を増やしていければ・・・
19	全員（特別な事情がある人は除く）がある一定期間役割をになう。その他に希望してくれる人に対してはリーダーとしての待遇を与え長い期間セミプロのようになってもらう
20	「身近な消防団」をアピール。例えば○小学生に対する消防活動の展示、屯所の紹介及び屯所での交流、気軽に立ち寄れる雰囲気作り○ジュニア消防団の育成
21	団員としての取り組み、活動の報告の場。地域イベント等で若い世代へのアピールの場。子供たちの憧れるような制服姿でのアピール。
22	消防自動車を運転するために必要な準中型免許を取得するのに助成金を出している地域もありますが、まだ岩手県全体では普及していないこと、助成金があるとはいえ、やはり金銭的に負担が大きいことも改善するべきかと思います。

23	全く新しい組織にする。上下、新旧なしで、住民皆平等にする。
24	友達同士の勧誘活動が効果的と思う。
25	転勤等で居住する独身者にとっては地域とのつながりが希薄と思われるので、そのような人たちが参加しやすい環境づくりが必要なのではないかと思います。
26	メリットを伝える
27	子供と一緒に親子、ファミリー、隊員チーム形成する、そこで会合に家族型に入ると子供の前もあるし飲んだからといってハメはずさない→子供の目もあるのでトラブル抑止力が高く→悪いイメージ評判が減る→健全なイメージが高まる
28	役割の啓発活動と処遇改善。
29	任務の内容は外せないものばかりなので、現状分析の上、合理化スリム化が可能なものを見つける
30	消防団が何をしているのか・・・、正確に知っている人は少ないと思うので、取り組み内容（どんなふうに活動してるか、またその内容 etc）を体験できる機会があれば分かりやすいのかなあ…と思います。
31	若い人の参加を可能にするような取り組みがあるといい。若い人の集まる場所（大学とか）での広報活動や、小中高等学校でのデモンストレーションなど。
32	消防団活動への有給休暇など待遇面と時間の優遇がないと会社員では休日活動が主になるしかない
33	消防団のスタッフの得意を生かした専門的なものに特化したものに、スタッフを区別する。例えば体力がある人、災害危機管理のことを考える人など、職種を分けるイメージ。
34	消防団員への優遇策。
35	ラジオ番組や新聞で対談 etc. 身近に分かるよのコーナーを作ってやっていく。
36	幼少の頃から、消防学習できる仕組みあればよい。絵画コンクール。小さなことでも消防団イメージした漫画・キャラクターでイベント開催する。
37	今はボランティア的な面が強く出ているので、休日返上分を休めるようにするなど、働く人の立場に立った支援をしてほしい。
38	若い人等への周知、あるいは入団が必要であるから、若い人たちへの働きかけが必要。一関市では、室根にある専門学校で特定の入団制度で入団している例がある。
39	活動内容を広く知らせ、そのような場で活躍しているのかなど学校の教育内容やイベントで皆に知らせる。
40	役割分担をはっきりすると、参加しやすくなると思います。
41	やはり、報酬とチームワークが良ければ楽しくみんな集まり、人の事でも助けたい気持ちになるのでは？！
42	Wワークと同じ捉え方で魅力的なごほうびがあるとやりがいを感じると思う、例えば映画、テーマパークチケットを特典に付けるとか

43	<p>少子化や市街地への人口流入などにより、若者人口が特に在の地域では激減しており、広報活動だけでは団員の確保が難しくなっている。明治時代、大正時代から変わらぬハッピーや帽子の着用など時代おくれのスタイルは廃止し、出初式や意味のわからない消防演習なども団員の負担になっていると思うので無くしてしまう方が良いと思う。</p>
44	<p>地域での人員把握と確保、協力体制をしっかりと行ったうえで、コミュニケーションを図っていく。</p>
45	<p>職場加入する。</p>
46	<p>従業員数に応じて事業所から団員を数名出してもらい、活動の際には可能な限り便宜を測ってもらう。訓練や出動のための時間分は、自治体から助成金として事業所に支払う事で、欠勤時間も給料を支払うなど。</p>
47	<p>地域住民は、案外、消防団活動のことを知らないような気がします。消防団は家事の消火をすることだけが仕事ではありません。いかに消防団の活動が大事で、地域に貢献しているのかを知ってもらうことが大事ではないかと思います。1日消防団員とか、お試し消防団的なことをしてみる。</p>
48	<p>ある年齢に達した方（例えば 30 才とか）に「入団おすすめ」の文書を差し上げる。活動に応じた手当の増額。</p>
49	<p>若い人でも入りやすい組織づくり（地域により異なる）地域コミュニティづくりのステーションとしての位置づけを PR してほしい</p>
50	<p>縛られない活動</p>
51	<p>少子化が進むので、新規入団者の減少に対応するには退団団員の活用や機能別団員・分団の認知広報かなと思います。</p>
52	<p>緊急時に出動できる方であれば、またいつでも出動できる方でなければならない。</p>
53	<p>人口が減っているのだから消防団員が減るのも道理だと思う。年齢層が上がるのも道理だと思う。なので、活動を今まで通りで維持しようとせずできる範囲にしても良いのではないかな。今できる範囲を明確にして地域の人に知らせていく。批判はできるかもしれないが(内部からも)そうすることでやる人がでてくると思う。地域の人も自分が個人でしなくてはいけないことがわかると思う。</p>
54	<p>学校等を通しての学生や親世代との交流・体験。団員よりも軽い活動内容で地区や職場から任期付で任命する。</p>
55	<p>報酬を上げること。議会中に居眠りしている高給取り議員にあげる報酬は、カットしてでも消防団員さんへのアップした方が良いと思います。</p>

問 22 消防団について御意見があれば、御記入ください。(自由記載)

1	特になし
2	市民の防災のために日々活動なさっていることに感謝申し上げます
3	時節柄、著しく大気の状況が不安定な時期で県をはじめ市町村の防災主管課はもとより消防団の皆さんは災害の警戒や対策にまさに身を粉にして従事されていること、本当に頭が下がります。私自身、消防団入団を勧められたことがあり、その際「飲み会」がほとんどだと聞かされました。「飲み会」は団員間の交流を深める大切なツールです。しかし、大切なのは消防団の業務内容を十分浸透させること。次に、消防団員の増加や負担軽減を図るには、国が主導して消防団員の処遇改善と時代の流れに即した業務にDXやドローンの導入を検討する必要があると考えます。また、現行の表彰制度をもっと拡充させることで団員のやりがいが増すと思います。
4	行事を少なく、例：年に1回を2年に1回にする
5	地域に貢献する団体として、これからは作業域を変えるべきです。消防署員と消防団員の区別をつけるべきです。
6	災害の時は、頭が下がります。ありがたいと伝えたい。
7	日中は町外へ行ってしまふことが多いので出動が出来ないかな。夜間は毎晩晩酌をしてしまうので、出動出来ないかな。と考えてしまうと、幽霊団員になって嫌がられるかな、という考えが先行します。皆さんがどうしているのかがわかると垣根が低くなるかと思ひます。
8	鍛えたほうがいい
9	消防団と聞くと、消防士や自衛隊と同様に火災、災害の危険な作業に携り、命がけで危険にもさらされるイメージが強い仕事で不安です。ドローンや重機、ロボットの活用で作業が少しでも安全に進められる対策がとられる様願っています。
10	今回のアンケート、すごくむずかしいと感じました。身近に存在しているものと思っていた組織の事がよくわからなかったなあと思ひました。消防団自体減っていつて、認知している人も少ないのではないのでは思ひています。改めて、団員の方々の働きにありがとうございますと言ひたいです。
11	地域のために活動してくれてありがとうございます。
12	既存消防団員との情報交換の場を設けてもつとPRすればよいと思ひう。大変さ・生きがいなどの情報共有があれば思ひます。
13	どんな活動をしているのかわからない。震災で避難誘導をし亡くなつた方がいることはニュースで聞いていつて、大変な任務だというイメージしかない。危険な任務ばかりではないイメージ作りも必要に思ひう。
14	地域のために活躍している団員を応援
15	頭が下がります。

16	地域の安全確保等に感謝しています
17	DX 化に合わせた現在の体制に合った消防団組織にしていく、スマホで情報共有 飲み会なし
18	日々の諸活動感謝しております。地域の皆さん会員のか消防団員として活動でき れば良いのですが、その方向けもあると思います
19	消防団と言うとどうしても厳しい訓練と規律に縛られ暗いイメージがありそう なので、明るい、楽しいイメージ作りが良いかと思います。ハードルをもっと下げ て自由に参加できる組織してみてもどうでしょうか。組織に参加すれば徐々に意識 も変わる人も出てくると思います。初めから、期待してハードルを上げて難しい 部分があるかと思います。明るい、楽しい中にも自分の大切な人や地域を守るとい ったし使命感もあるといったことをPRする。
20	消防団の役目が大切なのは分かるが、責任を全うしようとするあまり、東日本大 震災でも多くの犠牲者が出たと聞きます。同じ尊い命なので、安全が確保された中 での活動は必須だと思います。
21	いつも感謝しております。なかなか出来ない事です。
22	<ul style="list-style-type: none"> ・消防団の自体が割に合わないと感じている。感じた。 ・消防団体制を見直したほうが良い。 ・311 の時、消防団員の命は軽いものと感じた。
23	退職してから婦人消防協力隊の一員として何年か競技会の応援とか、火災や訓練 時の炊き出しとかに参加したことがあり、その時初めて消防団員の活動を知ること ができた。若い人たちの働き方や仕事内容などの変化に対応し、競技大会など直接 関係ない活動を省いて、地域の誰もが自分のこととして参加できるように改善して いくことが必要かと。
24	大事な役割なことではあるが、それゆえに個々の休みがない事が入団者が少ない かなと思ってしまいます。
25	そもそも消防団の仕組み自体が時代に即していないと感じます。岩手県庁として 過疎地域、高齢化先進地域代表として、国を巻き込んだ法律、制度運用の議論を始 めるべきかと考えます。(もしかしたら、担当者の方もすでにそうお考えかもしれ ませんが)
26	○消防団は地域防衛の基幹 ○地域住民の支援の充実
27	問 16 にある負担軽減については現役の方々がどの様な事を考え望んでいるのか を知りたい。※やはり増員あれば個々の負担が軽減につながる。
28	都市部から離れた地域では消防団の活動はとても重要だと感じています。団員の 高齢化が進んでいる中でも、災害発生時など対応してくれて、頭の下がる思いです。 消防団、団員のみなさまの待遇がより良いものになりますよう願っています。
29	やりたくても足踏みしている方もいると思うので、誰でも出来ることを広報など

	で広めていくことが必要だと思います。
30	自然災害等が多い昨今では、重要な団体であることは間違いがないので、この組織を維持していくことが大切だと思います。
31	おじさんが多く、やはり飲み会も多く、女性隊員などセクハラ、トラブルなどの(人間関係)など話も本当かウソかはわかりませんが少なく無く聞こえてくるので(飲み会時だと思われませんが)加入してる馴染のある方以外はちょっと心配に思います。
32	今回のアンケートでは、生活に定着している消防団の存在と役割について改めて考える機会を頂きました。少子高齢化が進む中で消防団の任務の負担減は必須と思います。災害は必ず起こり得るもので、安全に暮らすための知恵や情報を様々な形で発信してほしいです。それが消防団の負担減にもつながるものと思います。
33	平時、有事の際の活動には、いつも頭が下がります
34	かつて1年間に1度も活動しなかったのに報酬を貰ったという声を聞きました。本当であれば問題だと思います。
35	消防団=古いやり方、老人の集まり(仲間うちの活動)、上下関係など、若い人にとって、または、他から越してきた人にとって、あまり参加したくない場所といった感じがします。もっとオープンに、今の生活ニーズに合った、参加ができるなら、あまり固く考えず、参加できると思うのですが・・・。
36	いつも感謝しています。
37	税金で飲み会をしているイメージ
38	人口減少にある社会状態においては、団員の確保はますます難しくなるのは必至と思われる。したがって次の事を検討する必要がある。 ・活動内容のスリム化 ・機械化の導入で人手の負担を軽減する。 ・活動の内容により民間業者に委託する。など
39	普段(日常)の活動に非常に感謝しています。害獣対策にも対応できる資格等も付与してもらいたいと思います。
40	いつも大変なのだろうと思っています。お疲れ様です。市内の火事以外にも活動、感謝しています。気楽に参加してみたいです。
41	消防団員になられてる方は、いくつも地域で役を引き受け活動するなど、大変だなと思っています。特に消火活動以外に震災時の活動とても責任もってやっている姿(TVニュースとかで)に感謝です。
42	人口減少傾向なので、消防職員として優遇されればなり手も増えるのではないかと
43	消防では各種講習会や救命講習をしており、以前参加したこともあり、又機会があれば参加して技術などを身につけたい。
44	広報活動が低すぎ、存在をよく知る人は少ない。東日本大震災等、多くの災害で活躍し、命を落とした人も数多くいる。もっと皆にどんな場所で活躍しているか知

	らせることが必要。又、ボランティアではなく、報酬もあるとの事だが、少ないと思う。消防団ではなく、各個人への口座への振り込みを通して、明朗会計とすべきと思う。改善がなければならないと思う。命をかけてやる事もあるので、人の善意に頼っているところがあり、自身の安全を確保できる安心がなければなる人は少ないと思う。
45	消防団になる人は「自身のプライベートの時間を使ってでも、周りのためになることがしたい」と思う人か、「活動することで自分にとって利益になるものを得たい（金銭に限らず）」と思う人かのどちらかだと思う。前者も後者も、おそらく消防団以外の活動を既に行っており時間がない、という状況に陥ってそうなので、やはり忙しくなる前の若いうちに、消防団という選択肢をしっかりと浸透させ、早いうちに入団してもらえそうな取り組みをした方が良いのではないかと思う。
46	火災、水害、地震等、様々な災害が多発する今、改めて消防団の重要性を感じています。
47	消防団の方々は自分の命と引き換えになるくらい使命感の強い人もいれば、やじ馬や興味本位とピンキリのような気がします。あまり良いイメージはありません。
48	団員の減少 などの報道を目にします。たいへんな活動ですが、活動を続けていただきたいと思います。
49	日頃からの消防活動には感謝申し上げます。危険なことにも遭遇することと思えます、地域の安全安心を守るためにこれからも宜しくお願い致します
50	幼い頃、消防の番屋が近くにあり、交替で地域の大人たちが常駐していた。電話で火災連絡があれば、サイレンが鳴り、鉄瓶職人の方々を中心に時には夜に大工の棟梁であった父が若い弟子たちに号令をかえて飛び出していく姿を見て、カッコいいと思ったものである。今思えば、地域の人たちが常に協力して自分たちの命を守ろうと必死だったことが分かる。
51	小・中学生に、消防団員から、直接、話を聞く機会をもうける。子供たちを巻き込んだPR イベントを行う。
52	地域がピンチの時に守ってくれる存在として、もっと活動を知りたいと思いました。頑張ってください
53	日頃から地域の安全と財産を守ってくれている活動に感謝しております。また、この頃の多発する地震や災害に備え、消防団の役割は益々重要性が増します。こうした状況からも新しい若い消防団員の育成強化に期待します。団員は無理でも、団員を支えるサポーター的存在がいれば団員の負担軽減になるのでは。
54	私の住んでいる地区はまだ青年会もあり、消防団員になっている人もいます。六、七年前の大雨の時も夜回りをしてくれていました。助かりました。心強かったです。
55	消防団がいなくてもまわる、消防署の活動を望みます
56	団の消防車を運転する方が（誰でもいいと言うことはないですが、決まった方し

	か運転しなければならぬですが、出動する人のがそのときに何人集まってくれるかが問題です。集合は各々仕事関係でまちまちと思いますが、その為、すぐ出動という訳ではないでしょう。ある程度何人くるのか待ってから出動するのですか。
57	いつも地域の為にありがとうございます。
58	少子高齢化で協力したくても協力できないケースがあると察する人員数を増やすことより少数で対応できる創意工夫と人力開発が必要と思われる。
59	火災や災害時には、一番先に出動しなければならなくて、大変だと思います。活動において怪我等しないように、注意しながら頑張っている姿に感謝申し上げます。
60	はっぴや長靴で災害の最前線に立っているのだからいつも敬服している。指示指導には従わなくてはと思う。災害時の公務員の方方にも思う。
61	消防団活動に感謝します。昨今の災害多発を思いますと、消防団の存在は欠かせないと感じます。ただ、自分の時間を重視する今の時代、団員確保は難しいとも思います。現在の団員皆さん活動継続、あらたに加わってもらうために、いずれにしても待遇面の改善は必須かと思えます。たいへんかと思えますが、県などから支援をお願いしたいです。
62	具体的な活動、消防団の活動における報酬、手当等、全般的に広報が足りないと思う。なぜ、消防団が必要なのか。消防団としてどのような活動をしているのか。消防団に入団したとして、日常生活にどう影響するか、広報が必要なのに足りないと思う。
63	人口が減少しているので任意での消防団の人員増加は難しいと思う。少ない人数でも活動できるよう使用できる技術はどんどん使っていくべきだと思う。
64	一般人に、過酷、苦痛と思われない業種になって欲しい少しずつでも。
65	住民が知らないところでも大切な活動をしていると思うので、活動内容をなにかの形で住民に知らせてくれるといいと思います。震災の時は自ら被災しながらも活動してくれた姿には感謝の気持ちでいっぱいです。

2 現役の消防団員の方（回答者数5名）

問1 はじめに、あなたの性別、年齢、職業、居住地、出身地についてお聞かせください。

(1) 性別

① 男性	5
② 女性	0
③ その他	0
④ 答えたくない	0

(2) 年齢

① 20代以下	0
② 30代	1
③ 40代	3
④ 50代	0
⑤ 60代	1
⑥ 70代以上	0

(3) 職業

① 会社経営・役員	0
② 会社員	0
③ 公務員	0
④ 団体等職員	1
⑤ 農林水産業	2
⑥ パート・アルバイト	0
⑦ 専業主婦（主夫）	0
⑧ 学生	0
⑨ 無職	0
⑩ その他	2

※「⑩その他」の回答

・自営業

(4) 居住地

一関市	1	奥州市	1
雫石町	1	岩泉町	1

(5) 出身地

一関市	1	奥州市	2
雫石町	1	田野畑村	1

問2 あなたの階級と在職歴についてお聞かせください。

(1) 階級

① 団員	3	② 班長	2
③ 部長	0	④ 副分団長	0
⑤ 分団長	0	⑥ 副団長	0
⑦ 団長	0	⑧ 機能別団員	0

(2) 在職歴

① 1年未満	0	② 1年以上3年未満	0
③ 3年以上5年未満	0	④ 5年以上10年未満	0
⑤ 10年以上20年未満	4	⑥ 20年以上30年未満	1
⑦ 30年以上	0		

<消防団について、お伺いします>

問3 あなたが消防団へ入団したきっかけについて、当てはまるものを1つ選んでください。

① 家族や知人から勧誘されたから	0
② 消防団員や元団員から勧誘されたから	4
③ 家族が消防団員だったから	1
④ 地域に貢献したいと思ったから	0
⑤ 地域とのつながりを作りたいから	0
⑥ ポスターやチラシを見て消防団に興味を持ったから	0
⑦ ラッパ隊に興味があったから	0
⑧ その他	0

問4 あなたが消防団に入団する前に経験した事柄で、入団を後押ししたと考えられるものについて、当てはまるものを全て選んでください。

① 防災訓練への参加又は自主防災組織への所属	1
② 幼少年防火クラブ、又は女性防火クラブ（婦人防火クラブ）への所属	0
③ 消防車・救急車を要請した経験	1
④ 学校教育・社会教育等での消防救急に係る学習	0
⑤ 大規模災害（東日本大震災等）で被災した経験	0
⑥ 特に当てはまるものはない	3
⑦ その他	0

問5 入団前後の消防団に対するイメージについて、当てはまるものをそれぞれ1つ選んでください。

(1) 入団前

① 良い	0
② どちらかといえば良い	4
③ どちらかといえば悪い	1
④ 悪い	0

(2) 入団後

① 良い	0
② どちらかといえば良い	3
③ どちらかといえば悪い	1
④ 悪い	1

問6 入団して良かったと感じることについて、当てはまるものを全て選んでください。

① 地域を守っている実感がある	4
② 地域内のつながりを感じる	3
③ 消防団の活動以外で団員との交流が生まれた	3
④ 消防防災の知識や技術が身に付いた	4
⑤ 国や県、消防協会から表彰を受けた	0
⑥ 特にない	0
⑦ その他	0

問7 あなたが消防団に入団してやりがいを感じる活動について、当てはまるものを全て選んでください。

① 消火活動	4
② 災害時の避難誘導	3
③ 火災予防活動	4
④ 住民に対する消防訓練、応急手当等の指導	0
⑤ 行方不明者の捜索	1
⑥ 地域行事での警備活動	2
⑦ その他	0

問8 あなたは何歳頃まで消防団員を続けたいと思いますか。当てはまるものを1つ選んでください。

① 50歳まで	1
② 60歳まで	2
③ 70歳まで	1
④ その他	1

※「④その他」の回答

・もう辞めてもよい。

<消防団員のやりがいをもつめる観点の取組について、お伺いします>

問9 あなたは県や市町村の「消防団応援の店」制度を知っていますか。当てはまるものを1つ選んでください。

「消防団応援の店」制度とは・・・

地域の安全・安心を守るため活動している岩手県内の消防団員の皆様に対し、趣旨に御賛同いただき消防団応援の店として登録していただいた店舗及び事業者の皆様から特典や割引等のサービスを提供していただくことにより、消防団を応援していく制度です。県や一部の市町村で実施しています。

※ 県の制度における登録店舗数 : 415 店舗 (令和6年7月1日現在)

サービス内容の一例: ドリンク1杯無料、料金5%割引、粗品贈呈

① 知っている	5
② 知らない	0

問10 問9で「①知っている」を選んだ方にお聞きします。「消防団応援の店」制度を知ったきっかけについて、当てはまるものを1つ選んでください。

① 県や市町村のホームページを見て知った	0
② 市町村の担当課から周知された	1
③ 同僚団員から聞いた	2
④ 消防団員カードを見て知った	2
⑤ 店舗等のステッカーを見て知った	0
⑥ その他	0

問11 「消防団応援の店」の利用頻度について、当てはまるものを1つ選んでください。

① ほぼ毎日利用する	0
② 月に数回利用する	0
③ 年に数回利用する	1
④ 利用したことがない	4

問12 「消防団応援の店」にメリットを感じますか。当てはまるものを1つ選んでください。

① 非常に感じる	0
② やや感じる	1
③ あまり感じない	1
④ 全く感じない	0

問 13 問 11 で「④利用したことがない」を選んだ方にお聞きします。利用しない理由について、当てはまるものを全て選んでください。

① 近くに応援の店がない	0
② 興味のある業種の店がない	1
③ サービス内容に魅力を感じない	4
④ その他	0

問 14 「消防団応援の店」について、今後、こんなサービスがあれば良いと思う業種や事業所について、要望があれば御記入ください。(自由記載)

1	消防団活動で使う備品の割引などが受けられるといいと思う。ホームセンターや作業衣を取扱う店など。
2	そもそも必要ない。
3	ドラッグストア（ウェルシア、薬王堂など）があれば助かります。ガソリンスタンド（宇佐美）もあれば良いです。

問 15 「消防団応援の店」を多くの人に知って頂くために、効果的と考えられるものを全て選んでください。

① 店頭に掲示するステッカーを目立つものにする。	4
② 店内の掲示で特典サービスの内容を紹介する。	4
③ 各店舗の自社ホームページで、消防団応援の店に登録していることと、特典サービスの内容を紹介する。	4
④ 店舗検索サイト内のページで、消防団応援の店に登録していることと、特典サービスの内容を紹介する。	3
⑤ 地域情報誌やSNSで告知する。	3
⑥ その他（具体的に回答用紙に記入してください）	1

問 16 県では、消防団員としてやりがいを持ってもらうために、県による表彰や消防団応援の店の登録拡大に取り組んでいますが、他に効果的だと思われる取組があれば、御記入ください。(自由記載)

1	SNS や地元テレビ局で大々的に扱う。
2	「県による表彰や消防団応援の店の登録拡大」とあるが、あまり知られていない。団員を増やす為には、顕彰の機会を増やし、消防団応援の店などにも特典を与え、広く広報する必要があるのではないだろうか。
3	表彰対象が悪い。個人表彰は老害のもとである。長くやることが評価されることなのか？どの様に地域の為に工夫、活動したのかを分団や部ごとに活動実績表彰するべきである。無火災表彰もいらない。予防消防を熱心に活動してい

	でも、火災はそもそも不運により発生する場合が多い。時間を評価せずに活動内容を評価するべきである。現状の組織では無理であろうが。消防団を応援していただける事はありがたいが、店での優遇よりも職場での理解を促す活動の方が行政としての本質であり、安易なもので取り組んでいます感を出しているだけである。応援の店もいない。やり甲斐が薄くて団員が減少していると考えているならば、浅はかである。
4	税制面で減免又は免除する様な形をとれば、賛同する企業が増えるのではないかと考えます。

<消防団員の負担を軽減する観点の取組について、お伺いします>

問 17 消防団へ入団していることで負担になっていることや困っていることについて、当てはまるものを全て選んでください。

① 訓練や行事が多い	4
② 飲み会が多い	2
③ 休日がなくなる	5
④ 家族に負担をかけている	3
⑤ 本業に支障がある	3
⑥ 団員の上下関係	2
⑦ 報酬・手当が少ない	2
⑧ 人手が足りず、辞めたくても辞められない	0
⑨ 特になし	0
⑩ その他	1

※「⑩その他」の回答

- ・地域のイベントの警備は消防活動ではない。

問 18 消防団員として活動する上で、職場の理解は得られていますか。当てはまるものを1つ選んでください。

① 理解を得ており、積極的に応援されている	0
② 特に積極的ではないが、理解は得ている	2
③ どちらかという理解がない	1
④ 反対されている	0
⑤ その他	2

※「⑤その他」の回答

- ・自営業のため、自分で判断。
- ・自営のため、特に影響はない。(ちなみに、これまで勤めていた職場においては理解を得ていた。)

問 19 平日昼間に出勤がかかった場合、あなたは出勤できますか。当てはまるものを1つ選んでください。

① 出勤できる	2
② 出勤できない	3

問 20 問 19 で「②出勤できない」を選んだ方にお伺いします。出勤できない理由について、当てはまるものを全て選んでください。

① 仕事が忙しく出勤できる余裕がないため	1
② 会社や上司の了承を得られないため	1
③ 出勤時間が欠勤または早退扱いとなってしまうため	1
④ 営業など外出中で連絡がつきにくいいため	0
⑤ 勤務先が遠距離のため	0
⑥ 災害時に勤務先に出勤しなければならないため	0
⑦ その他	1

※「⑦その他」の回答

・時と場合による。「出勤できる、出来ない」の間は乱暴である。

問 21 国や市町村においては、消防団活動に協力している事業所を顕彰する消防団協力事業所表示制度を導入されており、県ではこれらの企業に入札資格審査における加点措置を実施しています。

このような消防団に協力する企業に対して、講じられることが望ましい施策が何かあれば御記入ください。(自由記載)

1	そもそもそんなことを知らない。
2	入札に参加しない企業の方が多いのではないか。減税や団員数に応じた助成金の方が協力企業は増加するのではないか。
3	税制上の優遇があれば良いと考えます。

問 22 消防団員の負担を軽減しつつ活動を充実させるため、今後新たに活用することが望ましい取組等について、あてはまるものを2つまで選んでください。

① 消防団アプリなどDXの導入（災害発生時の情報共有、出勤指令、活動報告の迅速化）	3
② ドローンの導入（災害時の避難誘導、被害状況の把握等で活用）	1
③ 消火・救助用資機材の導入	3
④ 新たに活用すべきものはない	0
⑤ その他（具体的に回答用紙に記入してください）	1

※「⑤その他」の回答

- ・定年制（辞めたいときに辞めやすくしてほしい。）

<消防団員の確保に向けた今後の取組について、お伺いします>

問 23 あなたは、県や市町村の消防団員募集の広報を見たことがありますか。

① 見たことがある		5
	ア テレビ・ラジオ	2
	イ SNS (X、TikTok、インスタグラムなど)	0
	ウ 広報誌	5
	エ ポスター・リーフレット・のぼり	5
	オ イベント等での広報	1
	カ その他	0
② 見たことがない		0

問 24 消防団員の入団を促進するに当たり、どのような広報媒体が有効だと思いますか。

次の中から当てはまるものを2つまで選んでください。

① テレビ・ラジオ	2
② SNS (X、TikTok、インスタグラムなど)	2
③ 広報誌	1
④ ポスター・リーフレット・のぼり	0
⑤ イベント等での広報	0
⑥ タレントやキャラクターを活用した広報	2
⑦その他	2

※「⑦その他」の回答

- ・地域の中での口コミ
- ・広報よりも組織改革

問 25 消防団員の入団を促進するに当たり、どのような広報内容が有効だと思いますか。

次の中から当てはまるものを2つまで選んでください。

① 消防団の役割	3
② 報酬・手当や活動内容	0
③ 消防団へ入団するメリット	4
④ 現役団員の声（やりがい、使命感など）	0
⑤ 学生や女性団員の活動紹介	2
⑥ その他	0

問 26 全国的に消防団員の減少傾向が続いていますが、入団者が増加するような魅力ある消防団にするためには、どのような対策が有効だと思いますか。当てはまるものを全て選んでください。

① 報酬・手当の増額など処遇を改善する。	2
② 活動内容や訓練回数を減らし、負担を軽くする。	4
③ 事業所に消防団活動への理解を求める等、サラリーマンの団員でも活動に参加しやすくする。	5
④ 消防団員を雇用する事業所等に優遇措置を行う。	5
⑤ 地域住民への消防団活動の理解や認知度を高める。	4
⑥ 消防団員が、新しい技術（DX、ドローン）を災害対応等で活用できるようにする。	3
⑦ 機能別団員や機能別分団など、団員のニーズに応じた活動形態を整備していく。	3

問 27 その他、消防団員の増加のために効果的だと思われる取組があれば、御記入ください。(自由記載)

1	活動内容が不透明なので SNS を使い、常に何をしているか発信する。
2	消防活動の訓練は吝かではないが、ポンプ操法などの大会は不必要。あくまでもボランティア活動の一環として、簡素化を図り、自主性に任せるべきである。
3	現役団員であるが、現状の活動内容スケジュールでは持続可能性が無い。過去も現代も奥州市はボトムアップの組織運営が皆無の状態、新規団員の勧誘もままならない。OB の機能別団員は老害になる場合がみられる。操法大会が特に団員の負担でしか無く、操作や伝達等講習会は理解できるが、大会にする必要性が無いのではないか。舞台訓練（行進等）は軍隊訓練であり、有事の現場では必要としない。地域に存在する意義は納得する物である為、持続可能な組織となる為にも改革が必須である。
4	自治会や行政区で消防団員加入に積極的に働きかけを行い、消防団の重要性を住民の皆さんに理解して頂く事が大事かと考えます。

問 28 消防団について御意見があれば、御記入ください。(自由記載)

1	頻繁な飲み会や、田舎のヤクザみたいな悪いイメージが付いていたりするので、それを払拭する情報発信が必要。そもそも一般が消防士と消防団員の区別も付いていないのも大きな問題であり、そういった誤解をなくすためにも消防団がどんなものなのか積極的にメディアをつかって発信する必要があると思う。あと、イベント後の飲み会がいない。
2	私は 50 才過ぎてから、再々に渡る勧誘により渋々入団を決意した口だが、過

	<p>去のイメージとして、消防団は飲み会が多いイメージが付き纏い入団を拒んでいた経緯がある。おそらく、そんな考えのある若者も多いかと思われるので、そのイメージを払拭できるような広報活動も必要ではないだろうか。</p>
3	<p>一般企業勤務、自営業などは有事の際出動するが、公務員団員は勤務中出動しない。そのうえで職場への理解促進を促すのは行政である矛盾を感じる。機能別団員、機能別団とDXやドローンの活用は別々の検討事項であり、一色単に問う事は乱雑過ぎるのではないか。一斉訓練に参加出来ない場合や、いつでも確認出来るよう機器の基本的な取り扱いの説明や有事での注まとめた動画は有れば良い。そのうえで操法大会、演習の廃止や変革が必要。</p>
4	<p>同じ地域に住む様々な職業を持つ人たちが、消防団という名のもとに集まっていて、他地域から移り住んだ私にとっては、消防団員でいることは、つながりを持つきっかけになったと思っている。確かに、休みの時に出動するときもあるので、家族には負担を掛けているが、地域を守るために活動しているということは、理解してもらっていると思う。人口が減少している中、消防団での活動に意義を感じて団員として活動している方、入団してくれる方を大事にしていればと思う。</p>

3 過去に消防団員だった方（回答者数5名）

問1 はじめに、あなたの性別、年齢、職業、居住地、出身地についてお聞かせください。

(1) 性別

① 男性	5
② 女性	0
③ その他	0
④ 答えたくない	0

(2) 年齢

① 20代以下	0
② 30代	0
③ 40代	0
④ 50代	0
⑤ 60代	4
⑥ 70代以上	1

(3) 職業

① 会社経営・役員	2
② 会社員	0
③ 公務員	0
④ 団体等職員	0
⑤ 農林水産業	1
⑥ パート・アルバイト	0
⑦ 専業主婦（主夫）	1
⑧ 学生	0
⑨ 無職	1
⑩ その他	0

(4) 居住地

八幡平市	1	西和賀町	1
田野畑村	1	岩手郡	1
紫波郡	1		

(5) 出身地

八幡平市	1	葛巻町	1
紫波町	1	西和賀町	1
田野畑村	1		

問2 あなたが消防団に入団していた期間について、当てはまるものを1つ選んでください。

① 1年未満	0
② 1年以上3年未満	1
③ 3年以上5年未満	0
④ 5年以上10年未満	0
⑤ 10年以上20年未満	2
⑥ 20年以上30年未満	0
⑦ 30年以上	2

問3 消防団を退団した理由について、最も当てはまるものを1つ選んでください。

① 活動への意欲・やりがいを感じなくなった	1
② 活動に伴う負担が大きくなった	2
③ その他	2

※「③その他」の回答

- ・市の担当課長、部長であったが定年で終了した。
- ・定年に到達したため。

問4 問3の理由について、具体的に回答用紙に記載してください。

①活動への意欲・やりがいを感じなくなった	体力的な衰え、訓練、捜索等への参加が厳しくなってきた。
②活動に伴う負担が大きくなった	父親が病気となり、会社の代表になったためそちらが忙しくなり、消防活動への参加が出来ずらくなったため。 東日本大震災復興のため仕事が多忙になり両立できなかった。
③その他	幹事会議分団長会議に出席し、更に火災等の場合も立会っていましたが定年で終了しました。 長年いることで班長、部長等の役職になる可能性があり、責任が出てくることで、野球指導等ができなくなることで退団しました。

問5 消防団員として長く活動を続けるために必要だと思うことについて、具体的に回答用紙に御記入ください。(自由記載)

1	私世代だと地域貢献のためという思いがあって続けてきましたが、今の若い人たちはどうなのでしょう？
2	消防活動について知識を得て入団が必要、職場の消防活動に対する協力体制が必要。消防活動が強制的活動になり、仕事より重視してしまい大切な仕事に影響することが多々あった。
3	地域の人口が減少しており、若者がいないのが一番困ります。消防後援会をつくって、子供たちの夜回りの支援や婦人協力隊への助成、国への助成を地域で支えています。

問6 消防団について御意見があれば、御記入ください。(自由記載)

1	たいへんだとは思いますが地域のために頑張っている姿を見ていてありがたいことだと思っています。
2	地域密着、有事の即時対応といった特性が強く地域の防災体制が保たれている。消防団員数の減少が続いており、団員確保が大変である。人数合わせのための入団活動は意味がない。少人数でも活動できる体制を各事業所が消防団、消防活動の理解と応援が必要であり、団員の確保につながると思う。
3	消防団のみなさんには、本当にご苦勞様です。何もなければありがたみはわかりません。火災があったり、自然災害があれば本当に大切さを感じます。平素より訓練をしたり、夜回りしたり、本当にご苦勞様です。自分たちの時代は(60代)人と人のつながりの中で強制的の入団してました。今はそれはないようです。青年会、野球チーム、祭り(山車)青年会=消防団であって、地域の中に消防団がありました。